

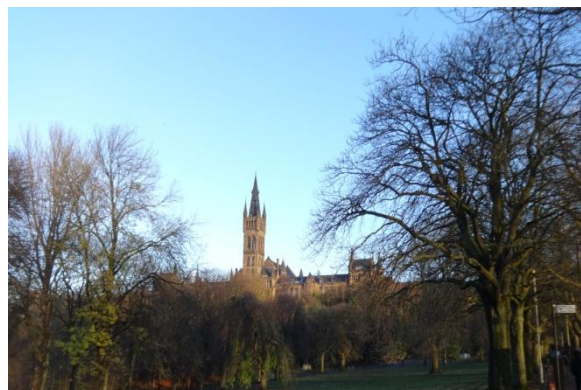
学生海外派遣プログラム実施報告書

所属学科	理工学研究科
氏名	中村 一平
派遣期間	2013年11月7日～2013年11月23日
派遣先 (国名及び機関名)	イギリス グラスゴー大学

派遣先での経験や日常生活など

今回、このプログラムに参加して研究面での技術や知識の向上だけでなく、新たな経験から多くの刺激を得ることができました。今回参加を希望した理由は、自分の研究分野の最先端の研究を行っている研究室で研究のノウハウや技術を学びたいという思いが強くなりました。派遣先であるグラスゴー大学のクロニン研究室は、世界でもトップクラスの研究を行っており、ひと研究室に50人以上もの研究者が在籍しています。研究グループは3つにわかれており、今回自分はそのうちの一つのグループのリーダーと一緒に研究を行いました。

グラスゴー大学は、周囲の自然が豊かで晴れた日の景色はすごく綺麗です。イギリスは雨が多くほぼ毎日雨が降ります。そのようななか、毎日ホテルから20分程歩いて通学しました。初日は、学校に着くとクロニン教授に挨拶にいきました。お会いしたのは、一度、日本にこられたとき以来でしたが、お会いした時のことを覚えて貰



っており緊張が少しほぐれました。しかし、いざ会話になると緊張でつたない英語しか頭に思い浮かびませんでした。このときに、もっと英語を話して慣れないといけないと強く思いました。

研究は、グループリーダーと話し合いながら進めていきました。毎日、前日に予定を決めるのですが予定通りにいくことはほぼありませんでした。毎日、彼を探し回り約束を取り付けないとい



けませんでしたが、しかし、探し回る間にいろんな人たちと会話することができよかったなと思います。このときに、やっぱり海外の人ってルーズなのかなと思いました。また、その他にも、自分の研究と関連した研究を行っている人たちに研究のノウハウや新しい技術

を聞き回りました。トップクラスの研究室ということもあり、研究を進める上で有用な情報をたくさん得ることができました。

イギリスは、物価が高く毎日の食事は、スーパーのサンドイッチやサラダで済ましていました。学校での食事は、研究室の人達と学食に行ったり、外に食べにいったりしました。イギリスには、イギリス料理といったものがあまりなく大学の周りには、中華、イタリアン、和食など様々な国の店がありました。また、近くのおすすめのパン屋なども紹介して貰いました。

グラスゴーの町並みは、とてもきれいでまるで映画にでてくる町並みみたいでした。日本とは全く異なりレンガ造りの家が並んでいて、雰囲気すごく良かったです。休日には、近くの都市であるエジンバラに行きました。グラスゴーからは、電車で行くのですが最初は乗り方がわからず、駅員に聞きながらなんとかたどり着きました。エジンバラでは、



エジンバラのシンボルともいわれるエジンバラ城に行きました。スコットランド王の居城であり、スコットランドの歴史を学ぶ上でとても重要な場所です。エジンバラの街は、グラスゴーと違い人で賑わっていました。路上でバグパイプを演奏している人もおり、スコットランドを堪能することができた一日だったと思います。



今回、グラスゴーで研究しながら生活するなかで、言葉の壁というものがかたくなってきたように思います。研究室で、隣の席の中国人の人とは、毎日お菓子をお互いに交換しながら話をしていました。日本のお菓子は、おいしくいただきました。他にも、チュニジア人、ドイツ人、フランス人など様々な国の人たちが同じ場所で研究しており、それぞれの国の文化や食生活を学ぶことができとても有意義な研究生生活を過ごせました。日本に帰国してからも、Facebookで友達になっており、英語でメッセージのやりとりもしております。研究面の向上だけでなく、語学力やコミュニケーション能力の向上にもつながった海外派遣プログラムでした。今後も、今回学んだことを活かし続けながら日々研究に勤しんでいきたいと思っています。